

能登町の家の玄関の扉を開いたところに広がっている景色、
それが私の原点です



中乃波木写真展 Noto

哲学館ギャラリー開設記念事業

2009 4|28(火) — 6|7(日)

入場無料
申込不要

場所：石川県西田幾多郎記念哲学館 ホワイエ・展望ラウンジ
ギャラリートーク：5月2日(土) 14:00- / 5月17日(日) 14:00-

中乃波木(なか のはぎ)・・・東京都出身の若手写真家。中学生生活の2年半を石川県能登町(旧柳田村)で過ごし、その後金沢で高校生活、東京で大学生生活を過ごす。社会人を経て独立後、拠点を石川県に移す。わずかの期間しか過ごしていない石川・能登を「ふるさと」と言い、独自の視点で撮り続けている。

今回は写真集『Noto』からのオリジナルプリントを中心に、新作の中学生シリーズも展示します。

写真展の会場となるホワイエ、展望ラウンジを貸出しています。詳細はお問い合わせください。

石川県
西田幾多郎記念哲学館
Ishikawa NISHIDA KITARO Museum of Philosophy

〒929-1126 石川県かほく市内日角井1
TEL(076)283-6600 / FAX(076)283-6320

開館時間：9時-17時30 月曜休館(5月4日は開館、7日が振替休館)

<http://www.city.kahoku.ishikawa.jp/nishida-museum/>

主催：かほく市、石川県西田幾多郎記念哲学館

———あなたのふるさとはどこですか？

中乃波木写真展

哲学館ギャラリー開設記念事業

Noto

ふるさとは、自分が生まれたところだけではなく、
生きていく中で見つけたり出会ったりしていけるものなのだと思います。
(写真集『Noto』より)

東京出身の写真家・中乃波木(なかのはぎ)は、中学生生活の2年半を石川県能登町(旧柳田村)で過ごしました。その後金沢での高校生活、東京での大学生活・社会人生活を経て独立し、拠点を石川に移しました。わずかの期間しか過ごしていない石川・能登を「ふるさと」と言い、独自の視点で撮り続けています。写真を通して表現されるふるさとへのまなざし。見る側にも、忘れていたふるさとへのいとおしさを思い起させてくれます。

今回は写真集『Noto』からのオリジナルプリントを中心に、新作の中学生シリーズも展示します。ぜひあなたのふるさとを、感じてください。

～中乃波木経歴～

1979年 東京生まれ

1992年 13歳夏 石川県能登半島の柳田村へ引っ越す

2001年 東京造形大学 視覚伝達学科写真専攻卒業

株式会社amana(広告写真制作会社)入社

2002年 独立

以後東京でフリーカメラマンとして活動

2、3ヶ月おきに能登へ帰り作品制作を行う

2006年 拠点を石川県に移す

2007年 初写真集『Noto』出版 FOIL刊

初個展『Noto』FOIL GALLERY 東京

2008年 個展『Noto』七尾しら井昆布店 ギャラリー玉藻

個展『Noto 初夏の展示』リゾートウイラ渤海

個展『Noto』ギャラリーひがしやま

ウェブサイト <http://nohagi.com/>

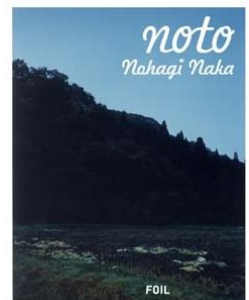
2009 4|28(火) — 6|7(日)

入場無料
申込不要

場所：石川県西田幾多郎記念哲学館 ホワイエ・展望ラウンジ

開館時間：9時—17時30分 休館日：月曜日(5月4日は開館、7日が振替休館)

■作家によるギャラリートーク：5月2日(土)14:00— / 5月17日(日) 14:00—
*それぞれ内容は異なります



『Noto』(FOIL刊)



哲学館ギャラリーを使ってみませんか

写真展の会場となるホワイエ、展望ラウンジは
展示会等で利用することができます。
安藤建築独特の空間を使ってみたい方、
右記までお気軽にお問い合わせください。

石川県
西田幾多郎記念哲学館
Ishikawa NISHIDA KITARO Museum of Philosophy

〒929-1126 石川県かほく市内日角井1

TEL(076)283-6600 / FAX(076)283-6320

E-mail:nishida-museum@city.kahoku.ishikawa.jp

<http://www.city.kahoku.ishikawa.jp/nishida-museum/>